

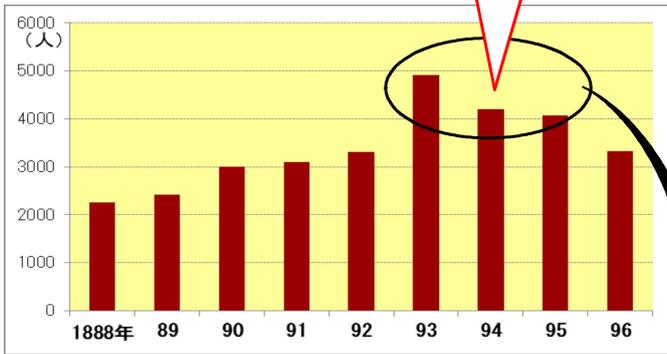
近代日本の歩み	( )組	氏
	( )番	名

孝治さんたちのクラスでは、近代日本についての学習のまとめとして、「宮崎県内の具体的なできごとを調べて、日本の歴史との関わりを確認する」学習を行うことになりました。次は、孝治さんのレポートの一部です。

【孝治さんのレポートの一部】

宮崎県の状況と日本の歴史と

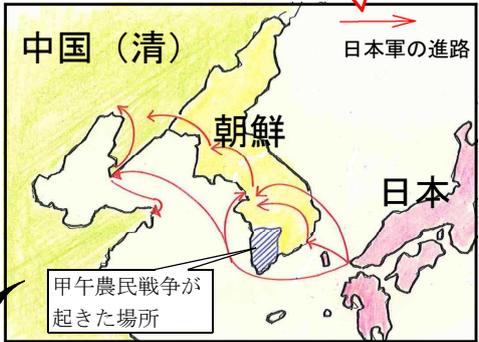
【資料1】宮崎県から徴兵された兵員の数



1894年に日清戦争がおきました。

日清戦争時における日本軍の進路です。

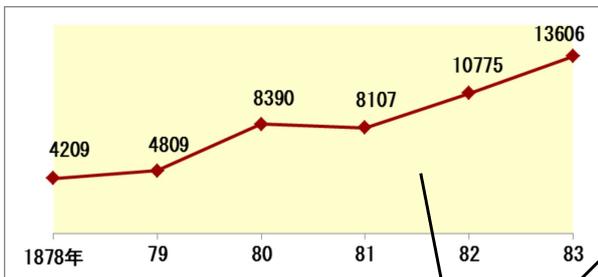
【資料2】1894年の東アジアの様子



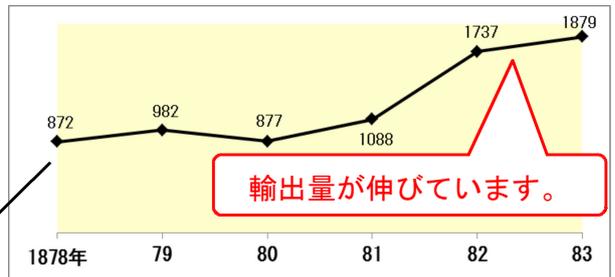
考えたこと

1894年に起きた( A )の影響で多くの兵員が徴兵されたのではないかな。

【資料3】宮崎県の生糸生産量の推移(kg)



【資料4】日本の生糸の輸出量の推移(トン)

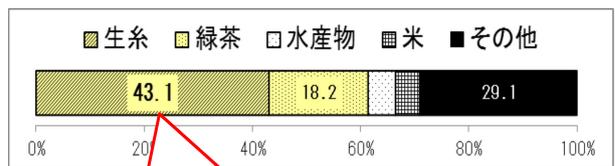


輸出量が伸びています。

考えたこと

宮崎県で生糸の生産額が増えているのは( B )からではないかな。

【資料5】1882年の日本の輸出品目割合



生糸が最大の輸出品であったことが分かります。

(「宮崎県史」、「学び考

省「蚕糸要覧」より作成)

(1) 上の資料1と、資料2の中の → をふまえ、上の( A )に適する歴史的なできごとを書きなさい。

日清戦争

(2) 上の資料3と資料4・5とを関連付け、孝治さんが( B )にどのようなことを書いたのかを考えて書きなさい。

資料4・5から読み取れることを、資料3と関連付けて考察することが大切です。

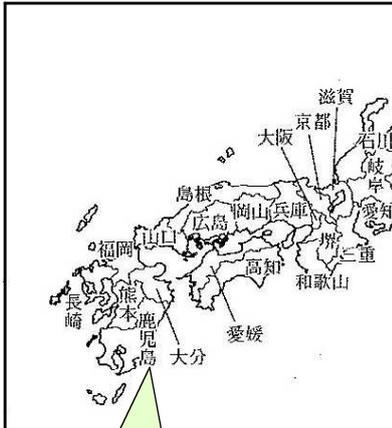
生糸は当時の重要な輸出品であり、国全体の輸出量も伸びていることから、宮崎県でも生糸がさかんに生産されていた

次は、隆さんのレポートの一部です。

【隆さんのレポートの一部】

宮崎県における廃藩置県

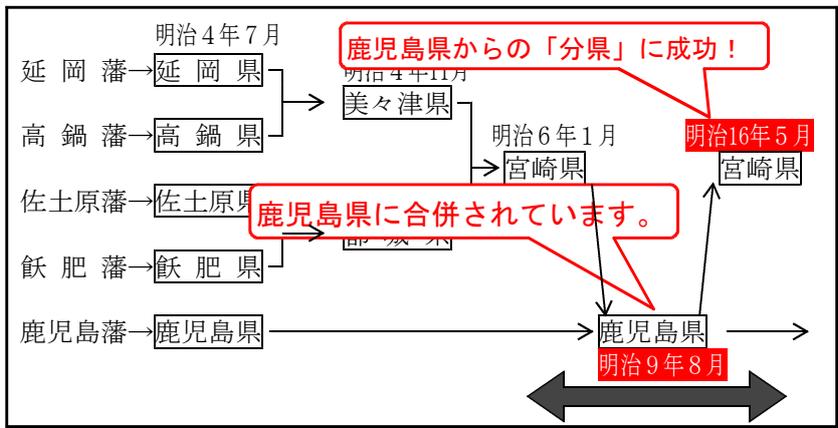
【資料6 府と県の地図】



宮崎県がない。  
→疑問① なぜ宮崎県がないのか？

(平成22年度宮崎県立五ヶ瀬中等教育学校入学者選抜検査より作成)

【資料7 宮崎の藩から県への移り変わり】



全国で自由民権運動がさかんだ時期 (明治6年～明治17年)

この時期宮崎県では自由民権運動が起きていない。  
→疑問② なぜ宮崎県では自由民権運動が起きなかったのか？

(3) 隆さんは、疑問①について調べ、分かったことをもとに資料7を作成しました。資料6に宮崎県がない理由を、資料7をふま

資料7の情報から考察して導き出します。

鹿児島県に合併されていたから。

(4) 資料6の地図は、明治何年の何月ころをふまえて、解答欄の( )に適する数字を

資料7の情報から判断します。

明治( 9 )年( 8 )月から明治( 16 )年( 5 )月ころの間であると考えられる。

(5) 隆さんは、疑問②について調べるうち、右の資料8の内容が書かれた宮崎県のホームページを見つけて仮説を立て、その仮説をもとにさらにくわしく調べることにしました。

隆さんがどのような仮説を立てたのかを、資料6～資料8をふまえて書きなさい。

(この時期宮崎県は、鹿児島県と合併していたため、より現実的な問題であった)鹿児島県からの独立を求める運動をさかんに行っていたからではないか。

【資料8 川越進の業績】

明治16年、対立が続いていた鹿児島県議会の中で、政党の争いと一定の距離をおいていた川越進が議長に選出されました。

宮崎県出身者として初めて鹿児島県議会議長に就任した川越進は、**宮崎県民の悲願であった鹿児島県からの分県(鹿児島県からの独立)に力を尽くしました。**

そして、それまで何度請願しても実現しなかった鹿児島県からの分県が、**明治16年の5月9日に実現**したのです。

(宮崎県ホームページより作成)